

令和 3 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 2 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	59	頁
	施策	1 生涯学習	取組	2 図書館機能・サービスの充実			

事業名		中央図書館運営事業										
担当課		教育部 図書館 図書館係										
目的	誰を・何を(対象)	利用者、資料										
	どのようにしたいか(意図)	・図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、イベント等を実施することで、読書のきっかけづくりや継続的な読書活動につなげます。 ・継続的な図書館資料の購入とリサイクル事業によって適切な図書館資料の所蔵数を保持します。										
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額 対前年比(%)			2021 年度予算額 対前年比(%)				
		39,434			43,172 109%			45,071 104%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	50			55 110%			58 105%				
	一般財源	39,384			43,117 109%			45,013 104%				
評価指標		2018			2019			2020			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		講座・イベントの開催数									件	
		21	12	175%	15	11	136%	9	16	56%		
指標②		図書館資料の購入点数									点	
		4,541	4,695	97%	4,383	4,950	89%	4,914	4,950	99%		
主な事業内容		・講座・イベントの実施、図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借 ・図書館資料購入 ・リサイクルフェア ・子ども読書活動推進										
成果		次の事業を行い、読書活動に寄与しました。 ・各種講座・イベント: 3講座、3イベント、よむらびカフェ(2回)、クリスマス会等を実施 ・図書館資料の貸出し点数: 一般書88,985点、児童書86,282点、視聴覚資料9,729点、雑誌14,289点 ・レファレンス件数: 490件 ・相互貸借件数: 貸159点、借401点 ・リサイクルフェア: 譲渡冊数7,985点 ・こども読書活動推進: 読み聞かせ会、読書通帳、発達段階に応じたブックリスト、よむらび通信、中央図書館だより、ブックスタート、図書館見学の受け入れ、図書資料の学級文庫への巡回、学校図書館担当者との情報交換(隔月)										
課題		新型コロナウイルスのまん延を契機として、人々のオンライン上での活動がますます盛んになる可能性が高いことから、電子書籍の導入など図書館に来ずとも読書活動ができる機会を提供することができるよう求められています。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・廃止を検討 B
		○				○		○				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充			○		図書館を取り巻く社会的環境の変化、それに伴う図書館に対するニーズの変化に対応するために、民間の力を借りて図書館を運営していく指定管理者制度の導入を検討しています。						
	現状維持											
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり					項	2 生涯学習			掲載	59	頁			
	施策	1 生涯学習					取組	2 図書館機能・サービスの充実								
事業名		中央図書館管理事業														
担当課		教育部 図書館 図書館係														
目的	誰を・何を(対象)	図書館施設(設備)、利用者、図書館職員														
	どのようにしたいか(意図)	・図書館施設(設備)の適切な管理と長寿命化を図ります。 ・利用者の読書活動の利便性を高めるため情報化を推進します。 ・業務の効率化を図るため情報化を推進します。														
事業費(千円)		2019 年度決算額			2020 年度決算額			対前年比(%)		2021 年度予算額			対前年比(%)			
		21,219			43,942			207%		27,176			62%			
財源内訳	国・県支出金	0			1,120			0		0			0%			
	受益者負担	0			10			0		0			0%			
	その他特定財源	64			148			231%		225			152%			
	一般財源	21,155			42,664			202%		26,951			63%			
評価指標		2018			2019			2020			単位					
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率						
指標①		Webによる図書資料の予約件数									件					
		6,490	8,000	81%	6,090	8,000	76%	5,860	8,000	73%						
指標②		Wi-Fi利用実績(接続端末数)									台					
		2,334	2,330	100%	2,273	2,151	106%	1,139	1,908	60%						
主な事業内容		・施設の保守、修繕、改修工事 ・図書館システムによる図書の管理 ・インターネット閲覧パソコンの提供 ・Wi-Fi環境の提供														
成果		次の事業を実施し、施設の安全性や利便性を高めました。 ・実施した改修工事 中央図書館防火シャッター改修工事(2,310千円) 中央図書館閉架書庫改修工事(7,854千円) 中央図書館内装・外壁改修工事(12,050千円)(R3年度へ繰越) ・Webによる図書資料の予約件数:5,860件 ・インターネットパソコン利用実績:319件 ・Wi-Fi利用実績(接続端末数)1,139台														
課題		施設の管理については、施設が老朽化していくので、再配置、複合施設化などを議論していく必要があります。 情報化への対応については、より便利で効率的な図書の管理ができるICタグの導入を検討する必要があります。														
評価視点									総合評価							
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B				
今後の方向性																
成果の方向性	拡充							効率的な図書館の管理を実現するため、大規模工事を除く管理事業については、民間の力を借りて図書館を運営していく指定管理者制度の導入を検討しています。								
	現状維持				○											
	縮小															
	廃止															
		皆減	縮小	現状維持	拡大											
		コスト投入の方向性														